

法律案

明治四十一年三月三十一日

内閣總理大臣 望

法制局長官

外務省

正

海軍省

文部省

逓信省

米

内務省

陸軍省

正

司法省

農商務省

別紙兩院ノ議決ヲ經タル陸軍刑法案
ヲ審査スルニ衆議院議長上奏ノ通裁
可ヲ奏請セラル可然ト認ム

法律案

九

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル陸軍刑法
ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治四十一年四月九日

内閣總理大臣

陸軍大臣

法律第四十六號

上奏案ノ通

別紙奏上有之度候也

明治四十一年三月二十四日

衆議院議長杉田定一



内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

衆議院書記官長林田亀太郎



衆議院ハ兩院ノ議ヲ
經タル陸軍刑法案ノ裁
可ヲ奉請ス

明治四十一年三月二十四日

衆議院議長杉田定一

陸
軍
刑
法
案

衆議院書記官長林田亀太郎

陸軍刑法

第一編 總則

第二編 罪

第一章 叛亂ノ罪

第二章 擅權ノ罪

第三章 辱職ノ罪

第四章 抗命ノ罪

第五章 暴行脅迫ノ罪

第六章 侮辱ノ罪

第七章 逃亡ノ罪

第八章 軍用物損壞ノ罪

第九章 掠奪ノ罪

第十章 俘虜ニ關スル罪

第十一章 違令ノ罪

陸軍刑法

第一編 總則

第一條 本法ハ陸軍軍人ニシテ罪ヲ犯シタル者ニ之ヲ適用ス

第二條 本法ハ陸軍軍人ニ非スト雖左ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者ニ之ヲ適用ス

一 第六十七條^四乃至第七十條^{六十七}ノ罪及此等ノ罪ノ未遂罪

二 第七十七條^四ノ罪

三 第八十一條^{七十九}乃至第八十八條^五ノ罪

四 第八十九條^六乃至第九十二條^{八十九}ノ罪

五 第九十四條^一乃至第九十六條^三ノ罪及第九十四條^一、第九十五條^二ノ未遂罪

六 第九十八條^五第一項、第九十九條^六、第一百條^{九十七}第二項及第一百條^{九十九}ノ罪

第三條 本法ハ前二條ニ記載シタル者帝國外ニ於テ罪ヲ犯シタルトキト雖之ヲ適用ス

第四條 帝國軍ノ占領地ニ於テ陸軍軍人刑法又ハ他ノ法令ノ罪ヲ犯シタルトキハ之ヲ帝國内ニ於テ犯シタルモノト看做ス

陸軍軍人ニ非スト雖帝國臣民、從軍外國人及俘虜ノ犯シタルトキ亦前項ニ同シ

第五條 帝國外ニ在ル部隊ニ屬シ若ハ從フ者又ハ之ニ俘虜タル者其ノ部隊ノ所在地ニ於テ刑法又ハ他ノ法令ノ罪ヲ犯シタルトキ亦前條ニ同シ

第六條 陸軍ト共同作戰ニ從フ海軍軍人ニ對スル行爲ハ其ノ職務、官等、等級又ハ階級ニ相當スル陸軍軍人ニ對スル行爲ト看做ス

第七條 陸軍ト共同作戰ニ從フ外國ノ陸海軍ニ屬スル者ニ對スル行爲ハ其ノ職務、官等、等級又ハ階級ニ相當スル陸軍軍人ニ對スル行爲ト看做ス但シ其ノ外國ニ於テ同一ノ取扱ヲ爲スコトヲ保セサル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八條 陸軍軍人ト稱スルハ左ニ記載シタル者ヲ謂フ

一 陸軍ノ現役ニ在ル者但シ未タ入營セサル者及歸休兵ヲ除ク

二 召集中ノ在郷軍人

三 召集ニ依ラス部隊ニ在リテ陸軍軍人ノ勤務ニ服スル在郷軍人

四 前二號ニ記載シタル者ノ外陸軍ノ制服着用中又ハ現ニ服役上ノ義務履行中ノ在郷軍人

五 志願ニ依リ國民軍隊ニ編入セラレ服務中ノ者

第九條 左ニ記載シタル者ハ陸軍軍人ニ準ス

一 陸軍所屬ノ學生、生徒

二 陸軍軍屬

三 陸軍ノ勤務ニ服スル海軍軍人

前項第一號ニ記載シタル者ノ中特ニ除外スヘキ者アルトキハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條 陸軍將校相當官、陸軍准士官、海軍將校、同相當官、海軍候補生及海軍准士官ハ陸軍將校ニ準ス陸軍士官ノ候補者ニシテ士官ノ勤務ニ服スル者及海軍候補生亦同シ

第十一條 陸軍士官ノ候補者ニシテ下士ノ階級ニ在リ士官ノ勤務ニ服セサル者ハ陸軍下士ニ準ス
 第十二條 陸軍ノ兵役ニ在リテ官等、等級ヲ有セサル者ハ兵卒ニ準ス 陸軍士官ノ候補者ニシテ兵卒ノ階級ニ在ル者亦同シ

第十三條 在郷軍人ト稱スルハ陸軍ノ現役以外ノ役ニ在ル者、陸軍ノ現役ニ在リテ未タ入營セサル者、陸軍ノ歸休兵及退役陸軍將校、同相當官、准士官ヲ謂フ

第十四條 陸軍軍屬ト稱スルハ陸軍文官、同待遇者及宣誓シテ陸軍ノ勤務ニ服スル者ヲ謂フ但シ豫備又ハ退職ノ文官ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 海軍軍人ト稱スルハ海軍刑法ニ於テ海軍軍人ト爲ス者ヲ謂フ

第十六條 上官ト稱スルハ命令關係アル陸軍軍人間ニ於テ命令權ヲ有スル者ヲ謂フ

命令關係ナキ者ノ間ニ於テハ官等、等級又ハ階級ノ上ナル者ハ之ヲ上官ニ準ス但シ兵卒ハ下士勤務上等兵ヲ除クノ外總テ同等トス

第十七條 司令官ト稱スルハ軍隊ノ司令ニ任スル陸軍軍人ヲ謂フ

第十八條 哨兵ト稱スルハ儀仗又ハ警戒ノ爲守地ニ在ル陸軍軍人ヲ謂フ

第十九條 部隊ト稱スルハ陸軍ノ軍隊、官衙、學校、特務機關及戰時ニ於ケル陸軍ノ特設機關ヲ謂フ

第二十條 戰時ト稱スルハ宣戰ノ公布アリタル時又ハ現ニ開戰シタル時ヨリ平和克復ノ時迄ヲ謂フ

一

第二十條 軍中ト稱スルハ左ニ記載シタル部隊ニ在ル場合ヲ謂フ

一 戰時ノ體勢ヲ執リタル部隊但シ留守部隊、衛戍勤務ニ服スル後備又ハ國民諸隊、戰地以外ノ地ニ在ル輸送又ハ補給諸機關ニシテ對敵狀態ニ在ラサルモノヲ除ク

二 戰時ノ體勢ヲ執ラサルモ對敵狀態ニ在ル部隊

三 内亂、事變又ハ一地方ノ騷擾ニ際シ其ノ鎮定ニ從事スル部隊

第二十二條 陸軍ニ於テ死刑ヲ執行スルトキハ陸軍法衙ヲ管轄スル長官ノ定ムル場所ニ於テ銃殺ス

第二十三條 前條ノ規定ハ刑法又ハ他ノ法令ニ依リ處斷シタル場合ニ亦之ヲ適用ス

第二十四條^二 多衆共同ノ暴行ヲ鎮壓スル爲又ハ敵前ニ在ル部隊ノ急迫ニ臨ミ軍紀ヲ保持スル爲已ムコトヲ得サルニ出テタル行爲ハ之ヲ罰セス

必要ノ程度ヲ超エタル行爲ハ情狀ニ因リ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第二十五條^三 前條ノ規定ハ刑法又ハ他ノ法令ノ罪ト爲ルヘキ行爲ニ亦之ヲ適用ス

第二十六條 本法ニ依リ死刑ニ處セラレタル者其ノ執行ヲ免除アリタル日ヨリ五年内ニ更ニ本法、刑法又ハ他ノ法令ノ罪ヲ犯シ有期懲役ニ處スヘキトキハ前ノ罪ヲ懲役ニ該ル罪ト同質ノ罪

ト認ムルトキニ限り之ヲ再犯トス

第二十七條^四 本法及海軍刑法ニ於テ俱ニ罰スヘキ正條アリ且其ノ刑ニ輕重ナキトキハ陸軍軍人ニ準スル者ト雖海軍軍人ニ對シテハ海軍刑法ヲ適用ス

第二編 罪

第一章 叛亂ノ罪

第二十八條^五 黨ヲ結ビ兵器ヲ執リ反亂ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 首魁ハ死刑ニ處ス

二 謀議ニ參與シ又ハ群衆ノ指揮ヲ爲シタル者ハ死刑、無期若ハ五年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他諸般ノ職務ニ從事シタル者ハ三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三 附和隨行シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第二十九條^六 反亂ヲ爲ス目的ヲ以テ黨ヲ結ビ兵器、彈藥其ノ他軍用ニ供スル物ヲ劫掠シタル者ハ前條ノ例ニ同シ

第三十條^{二十七} 左ニ記載シタル行爲ヲ爲シタル者ハ死刑ニ處ス

一 軍隊又ハ要塞、陣營、艦船、兵器、彈藥其ノ他軍用ニ供スル場所^{○建造物其ノ他ノ}若ハ物ヲ敵國ニ交付^{スルコト}シタルトキ

二 敵國ノ爲ニ間諜ヲ爲シ又ハ敵國ノ間諜ヲ幫助シタルトキ スルコト

三 軍事上ノ機密ヲ敵國ニ漏泄シタルトキ スルコト

四 敵國ノ爲ニ嚮導ヲ爲シ又ハ地理ヲ指示シタルトキ スルコト

五 敵國ニ降ラシムル爲司令官ヲ強要シタルトキ スルコト

六 敵國ノ爲ニ俘虜ヲ奪取シ又ハ之ヲ逃走セシタルトキ スルコト

第二十八條 敵國ヲ利スル爲左ニ記載シタル行爲ヲ爲シタル者ハ死刑ニ處ス

一 要塞、陣營、艦船、兵器、彈藥其ノ他軍用ニ供スル場所。。建造物其ノ他ノ又ハ物ヲ損壞シ又ハ使用スルコト能ハ

サルニ至ラシタルトキ ムルコト

二 水陸ノ通路、橋梁ヲ損壞又ハ壅塞シ又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ軍隊、艦船ノ往來ノ妨害ヲ生セ

シタルトキ ムルコト

三 司令官軍隊ヲ率井テ守地若ハ配置ノ地ニ就カス又ハ其ノ地ヲ離レタルトキ ムルコト

四 隊兵ヲ解散シ又ハ其ノ潰走混亂ヲ誘起シ又ハ其ノ連絡集合ヲ妨害シタルトキ スルコト

五 兵器、彈藥、糧食、被服其ノ他軍用ニ供スル物ヲ缺乏セシタルトキ ムルコト

六 命令、通報若ハ報告ヲ詐リ傳ヘ又ハ虛偽ノ命令、通報若ハ報告ヲ爲シタルトキ スルコト

七 造言飛語シ又ハ敵前ニ於テ叫呼喧噪シタルトキ スルコト

第二十九條 前二條ニ記載シタル以外ノ方法ヲ以テ敵國ニ軍事上ノ利益ヲ與ヘ又ハ帝國ノ軍事上

ノ利益ヲ害シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第三十條 反亂者又ハ内亂者ヲ利スル爲前三條ニ記載シタル行爲ヲ爲シタル者ハ死刑、無期若ハ三年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第三十一條 前六條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第三十二條 第二十八條乃至第三十條ノ罪ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ一年以上ノ有期ノ懲

役又ハ禁錮ニ處ス

第三十六條^三 第二十八條^五又ハ第二十九條^六ノ罪ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者未タ事ヲ行ハサル前自
首シタルトキハ其ノ刑ヲ免除ス

第三十七條^四 本章ノ規定ハ戰時同盟國ニ對スル行爲ニ亦之ヲ適用ス

第二章 擅權ノ罪

第三十八條^五 司令官外國ニ對シ故ナク戰鬪ヲ開始シタルトキハ死刑ニ處ス

第三十九條^六 司令官休戰又ハ媾和ノ告知ヲ受ケタル後故ナク戰鬪ヲ爲シタルトキハ死刑ニ處ス

第四十條^{三七} 司令官權外ノ事ニ於テ已ムコトヲ得サル理由ナクシテ擅ニ軍隊ヲ進退シタルトキハ

死刑又ハ無期若ハ七年以上ノ禁錮ニ處ス

第四十一條^{三八} 命令ヲ待タス故ナク戰鬪ヲ爲シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ七年以上ノ禁錮ニ處ス

第四十二條^{三九} 本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第三章 辱職ノ罪

第四十三條 司令官其ノ盡スヘキ所ヲ盡サスシテ敵ニ降リ又ハ要塞ヲ敵ニ委シタルトキハ死刑ニ
處ス

第四十四條^一 司令官野戰ノ時ニ在リテ隊兵ヲ率井敵ニ降リタルトキハ其ノ盡スヘキ所ヲ盡シタル
場合ト雖六月以下ノ禁錮ニ處ス

第四十五條^二 司令官敵前ニ於テ其ノ盡スヘキ所ヲ盡サスシテ隊兵ヲ率井逃避シタルトキハ死刑ニ
處ス

第四十六條^三 司令官軍隊ヲ率井故ナク守地若ハ配置ノ地ニ就カス又ハ其ノ地ヲ離レタルトキハ左
ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ五年以上ノ有期禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第四十七條^四 司令官出兵ヲ要求スル權アル官憲ヨリ其ノ要求ヲ受ケ故ナク之ニ應セサルトキハ二
年以下ノ禁錮ニ處ス

第四十八條^五 將校部隊若ハ一部ノ兵員ヲ率井又ハ之ニ屬シ輸送船舶ニ在リテ敵ノ艦船ニ遭遇シタ
ル際其ノ盡スヘキ所ヲ盡サスシテ其ノ船舶ヲ退去シタルトキハ死刑、無期若ハ十年以上ノ懲役
又ハ禁錮ニ處ス

第四十九條^六 部下多衆共同シテ罪ヲ犯スニ當リ鎮定ノ方法ヲ盡ササル者ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十條^{四十七} 哨兵故ナク守地ヲ離レタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十一條^{四十八} 哨兵睡眠又ハ酩酊シテ其ノ職務ヲ怠リタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ五年以下ノ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十二條^{四十九} 衛兵、控兵、巡察、斥候其ノ他警戒又ハ傳令ノ勤務ニ服スル者故ナク勤務ノ場所若ハ隊

伍ヲ離レタルトキ又ハ到ルヘキ場所ニ到ラサルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ死刑又ハ無期若ハ十年以上ノ禁錮ニ處ス

二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十三條 故ナク規則ニ依ラスシテ哨兵ヲ交代セシメ其ノ他哨令ニ違反シタル者ハ左ノ區別ニ
從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ一年以上五年以下ノ禁錮ニ處ス

二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十四條^一 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ斥候、巡察又ハ偵察ノ勤務ニ服スル者虚偽ノ報告ヲ爲シタルトキハ七年以下ノ懲役ニ處ス

戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ軍事ニ關スル命令、通報又ハ報告ノ傳達ヲ掌ル者其ノ命令、通報若ハ報告ヲ詐リ傳ヘ又ハ故ナク之ヲ傳達セサルトキ亦前項ニ同シ

第五十五條^二 軍事機密ノ圖書、物件ヲ保管スル者危急ノ時ニ當リ之ヲ敵ニ委セサル方法ヲ盡ササルトキハ五年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十六條^三 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ兵器、彈藥、糧食、被服其ノ他軍用ニ供スル物ノ運搬又ハ支給ヲ掌ル者故ナク之ヲ缺乏セシメタルトキハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第五十七條^四 健康ヲ害スヘキ飲食物ヲ配給シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ無期又ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第五十八條^五 從軍ヲ免レ又ハ危險ナル勤務ヲ避クル目的ヲ以テ疾病ヲ作爲シ、身體ヲ毀傷シ其ノ他詐僞ノ行爲ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ五年以上ノ有期懲役ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第五十九條^六 第四十三條、第四十五條、第四十六條、第四十八條、第五十條、第五十二條、第五十四條及第五十六條^三乃至第五十八條^五ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第四章 抗命ノ罪

第六十條^{五十七} 上官ノ命令ニ反抗シ又ハ之ニ服從セサル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ死刑又ハ無期若ハ十年以上ノ禁錮ニ處ス

二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ一年以上七年以下ノ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十八條 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

- 一 敵前ナルトキハ首魁ハ死刑ニ處シ其ノ他ノ者ハ死刑又ハ無期禁錮ニ處ス
- 二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ首魁ハ無期又ハ五年以上ノ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ一年以上十年以下ノ禁錮ニ處ス
- 三 其ノ他ノ場合ナルトキハ首魁ハ三年以上十年以下ノ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ五年以下ノ禁錮ニ處ス

錮ニ處ス

第五十九條 暴行ヲ爲スニ當リ上官ノ制止ニ從ハサル者ハ三年以上ノ禁錮ニ處ス

第五章 暴行脅迫ノ罪

第六十三條 上官ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

- 一 敵前ナルトキハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス
- 二 其ノ他ノ場合ナルトキハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十四條 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

- 一 敵前ナルトキハ首魁ハ無期若ハ十年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス
- 二 其ノ他ノ場合ナルトキハ首魁ハ五年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十五條 上官ニ對シ兵器又ハ兇器ヲ用井テ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

- 一 敵前ナルトキハ死刑、無期若ハ十年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス
- 二 其ノ他ノ場合ナルトキハ無期若ハ二年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十六條 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

- 一 敵前ナルトキハ首魁ハ死刑ニ處シ其ノ他ノ者ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ首魁ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ死刑、無期若ハ五年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十七條^四 哨兵ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ四年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十八條^五 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ首魁ハ三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ首魁ハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十九條^六 哨兵ニ對シ兵器又ハ兇器ヲ用井テ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

斷ス

一 敵前ナルトキハ無期若ハ五年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十條^{六十七} 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ首魁ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ無期若ハ七年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ首魁ハ死刑、無期若ハ七年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ無期若ハ二年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十一條^{六十八} 上官又ハ哨兵以外ノ陸軍軍人其ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ四年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

黨與シテ前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ首魁ハ六月以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者

ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二十

第六十九
第七十二條

上官又ハ哨兵以外ノ陸軍軍人其ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ對シ兵器又ハ兇器ヲ用
井テ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

黨與シテ前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ首魁ハ無期若ハ三年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者
ハ二年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十三條 多衆聚合シテ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 首魁ハ三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 他人ヲ指揮シ又ハ他人ニ率先シテ勢ヲ助ケタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處
ス

三 附和隨行シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十四條 職權ヲ濫用シテ陵虐ノ行爲ヲ爲シタル者ハ三年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十五條 第六十三條乃至第七十三條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第六章 侮辱ノ罪

第七十六條 上官ヲ其ノ面前ニ於テ侮辱シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

文書、圖畫若ハ偶像ヲ公示シ又ハ演說ヲ爲シ其ノ他公然ノ方法ヲ以テ上官ヲ侮辱シタル者ハ五
年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十七條 哨兵ヲ其ノ面前ニ於テ侮辱シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七章 逃亡ノ罪

第七十八條 故ナク職役ヲ離レ又ハ職役ニ就カサル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ死刑、無期若ハ五年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ三日ヲ過キタルトキハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ニ於テ六日ヲ過キタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二十一

第七十九條^六 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ首魁ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ死刑、無期若ハ七年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ三日ヲ過キタルトキハ首魁ハ五年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ六月以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ニ於テ六日ヲ過キタルトキハ首魁ハ一年以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十七條^七 敵ニ奔リタル者ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處ス

第七十八條^五 第七十九條第一號、第七十九條第一號及前條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第八章 軍用物損壞ノ罪

第七十九條^七 陸軍ノ工場、船舶、戰鬪ノ用ニ供スル建造物、汽車、電車若ハ橋梁又ハ陸軍ノ軍用ニ供ス

ル物ヲ貯藏スル倉庫ヲ燒燬シタル者ハ死刑又ハ無期ノ懲役ニ處ス^{若ハ十年以上ノ懲役ニ處ス}

第八十三條 露積シタル兵器、彈藥、糧食、被服其ノ他陸軍ノ軍用ニ供スル物ヲ燒燬シタル者ハ左ノ

區別ニ從テ處斷ス

一 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ無期又ハ二年以上ノ懲役ニ處ス

第八十四條^一 火藥、汽罐其ノ他激發スヘキ物ヲ破裂セシメテ前二條ニ記載シタル物ヲ損壞シタル者ハ燒燬ノ例ニ同シ

第八十五條^二 第八十三條ニ記載シタル物又ハ陸軍戰鬪ノ用ニ供スル鐵道、電線若ハ水陸ノ通路ヲ

損壞シ又ハ使用スルコト能ハサルニ至ラシメタル者ハ無期又ハ二年以上ノ懲役ニ處ス

第八十六條^三 兵器、彈藥、糧食、被服、馬匹其ノ他陸軍ノ軍用ニ供スル物ヲ毀棄又ハ傷害シタル者ハ十

年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第八十七條^四 第八十九條^{七十九}乃至第八十五條^二ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

二十四

第八十八條^五 本章ノ規定ハ陸軍ト共同作戰ニ從フ外國陸海軍ノ軍用物ニ對スル行爲ニ亦之ヲ適用ス

第九章 掠奪ノ罪

第八十九條^六 戰地又ハ帝國軍ノ占領地ニ於テ住民ノ財物ヲ掠奪シタル者ハ一年以上ノ有期懲役ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯スニ當リ婦女ヲ強姦シタルトキハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處ス

第九十條^{八十七} 戰場ニ於テ戰死者又ハ戰傷病者ノ衣服其ノ他ノ財物ヲ褫奪シタル者ハ一年以上ノ有期懲役ニ處ス

第九十一條^{八十八} 前二條ノ罪ヲ犯ス者人ヲ傷シタルトキハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處シ死ニ致シタルトキハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第九十二條^{八十九} 本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十章 俘虜ニ關スル罪

第九十三條 俘虜ヲ看守又ハ護送スル者其ノ俘虜ヲ逃走セシメタルトキハ三年以上ノ有期懲役ニ處ス

第九十四條^一 俘虜ヲ逃走セシメタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

俘虜ヲ逃走セシムル目的ヲ以テ器具ヲ給與シ其ノ他逃走ヲ容易ナラシムヘキ行爲ヲ爲シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ目的ヲ以テ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第九十五條^二 俘虜ヲ奪取シタル者ハ二年以上ノ有期懲役ニ處ス

第九十六條^三 逃走シタル俘虜ヲ藏匿シ又ハ隱避セシメタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第九十七條^四 第九十三條乃至第九十五條^二ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

二十五

第十一章 違令ノ罪

二十六

第九十八條^五 哨兵ヲ欺キテ哨所ヲ通過シ又ハ哨兵ノ制止ニ背キタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ一年以上五年以下ノ禁錮ニ處ス

二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

前項ノ外哨兵ニ對シ哨令ヲ犯シタル者亦前項ニ同シ

第九十九條^六 在郷軍人故ナク召集ノ期限ニ後レタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 戰時ニ際シ又ハ事變ノ爲召集ヲ受ケタル場合ニ於テ五日ヲ過キタル者ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ニ於テ十日ヲ過キタル者ハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第一百條^{九十七} 兵役ヲ免ルル目的ヲ以テ疾病ヲ作爲シ、身體ヲ毀傷シ其ノ他詐僞ノ行爲ヲ爲シタル者

ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

在郷軍人召集ヲ免ルル目的ヲ以テ前項ノ行爲ヲ爲シタルトキ亦前項ニ同シ

第一百一條^{九十八} 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ軍事ニ關スル虛僞ノ命令、通報又ハ報告ヲ爲シタル者

ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第一百二條^{九十九} 戰時又ハ事變ニ際シ軍事ニ關シ造言飛語ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第一百三條 禮砲、號砲其ノ他空包ヲ發スヘキ場合ニ於テ彈丸、瓦石其ノ他ノ物ヲ裝填シテ發シタル

者ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第一百四條^一 哨兵又ハ衛兵故ナク銃砲ヲ發シタルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第一百五條^二 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ急呼ノ號報アリタル場合ニ故ナク來會セサル者ハ二

年以下ノ禁錮ニ處ス

第一百六條^三 政治ニ關シ上書、建白其ノ他請願ヲ爲シ又ハ演說若ハ文書ヲ以テ意見ヲ公ニシタル者

二十七

ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第四百七條 服從ノ^{義務}道ニ違フヘキ事ヲ目的トシテ黨ヲ結ヒタルトキハ首魁ハ六月以上五年以下ノ

禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

明治十四年第六十九號布告陸軍刑法ハ之ヲ廢止ス



陸軍大臣提出陸軍刑法案

右謹テ上奏シ恭シク

聖裁ヲ仰キ併セテ帝國議會ノ議ニ
付セラレムコトヲ請フ

明治四十一年二月十三日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望

陸軍

明治四十一年二月八日

口

内閣總理大臣 望

法制局長官

外務省

大蔵省

海軍省

文部省

逓信省

内務省

陸軍省

司法省

農商務省

陸軍省

別紙陸軍大臣請議陸軍刑法改正案ヲ
審査スルニ右ハ刑法ノ改正ニ伴ヒ且
不備ノ點ヲ修補スル為改正ヲ為サム
トスルモノニシテ相當ノ儀ト思考ス

依テ請議ノ通閣議決定帝國議會ニ提出セウレ可然ト認ム但シ呈案付箋主務省協議濟

法律案

呈案付箋ノ通

陸軍刑法案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十一年二月十五日(丑)

内閣總理大臣

陸軍大臣

參照

六
第
四

第三章	搜捕	陸軍刑法別冊ノ通改定明治十五年一月一日ヨリ	●陸軍刑法 (明治十四年十二月 第六十九號布告)	陸軍刑法別冊ノ通改定明治十五年一月一日ヨリ	之ヲ施行ス	右章 勅旨布告候事 (別冊)	陸軍刑法目錄
第四章	尋職	第一章 總則		第一章 總則		第一章 總則	
第五章	暴行	第二章 法例		第二章 法例		第二章 法例	
第六章	侮辱	第一條 總則		第一章 總則		第一章 總則	
第七章	逃亡	第一條 此刑法ニ於テ罰ス可キ罪別テ二種ト爲ス		第二章 法例		第二章 法例	
第八章	逃亡	第二條 此刑法ハ頒布以前ニ係ル犯罪ニ及ハスコトヲ得ス		第一條 總則		第一章 總則	
第九章	詐偽	第三條 若シ所犯頒布以前ニ在テ未タ判決ヲ經サル者ハ新舊ノ法ヲ比照シ輕キニ從テ處斷ス		第二條 總則		第二章 法例	
		第四條 軍人ト稱スルハ將官及ヒ同僚官上長官士官下士諸卒ヲ謂フ		第三條 總則		第三章 法例	
		第五條 軍屬ト稱スルハ陸軍出仕ノ文官其他總テ軍務若クハ護法ノ式ニ由リ陸軍ニ從事スル者ヲ謂フ		第四條 總則		第四章 法例	
		第六條 司令官ト稱スルハ一軍一團其他一部隊ト雖モ總テ其司令ニ任スル者ヲ謂フ		第五條 總則		第五章 法例	
		第七條 哨兵ト稱スルハ機伏若クハ警戒ノ爲メ守地ニ在ル者ヲ謂フ		第六條 總則		第六章 法例	
		第八條 上官ト稱スルハ官等ノ上ナル者ヲ謂フ同僚ト雖モ命令ヲ下ス可キ權ヲ有スル者其部下ニ於テハ上官ニ同シ上等「卒」及ヒ上等「卒」ノ職ヲ奉スル者其部下ニ於ケル亦之ニ準ス		第七條 總則		第七章 法例	
		第九條 將校同僚ノ軍人ハ總テ將校ニ同シ軍屬及ヒ陸軍所屬ノ諸生徒ハ總テ軍人ニ		第八條 總則		第八章 法例	
				第九條 總則		第九章 法例	

[illegible]

當り規定ノ方ニ違フ者ハ三月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ刑官ヲ附加ス
第七十六條 軍人上官ニ對シ暴行ヲ爲ス者ハ一年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ刑官ヲ附加ス
第七十七條 軍人二人以上共ニ前條ノ罪ヲ犯ス者首魁ハ重禁錮ニ處シ其他ノ犯人ハ一年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ刑官ヲ附加ス
第七十八條 軍人上官ノ公務ヲ行フニ當リ前二條ノ罪ヲ犯ス者ハ各一等ヲ加フ
第七十九條 軍人上官ニ對シ兵器ヲ用ヒ暴行ヲ爲ス者ハ死刑ニ處ス
第八十條 軍人上官ニ對シ兵器ヲ用ヒ暴行ヲ爲ス者ハ死刑ニ處ス
第八十一條 軍人二人以上共ニ前條ノ罪ヲ犯ス者首魁ハ重禁錮ニ處シ其他ノ犯人ハ一年以上四年以下ノ輕禁錮ニ處シ刑官ヲ附加ス
第八十二條 軍人上官ノ公務ヲ行フニ當リ前二條ノ罪ヲ犯ス者ハ各一等ヲ加フ
第八十三條 軍人上官ニ對シ兵器ヲ用ヒ暴行ヲ爲ス者ハ死刑ニ處ス
第八十四條 軍人上官ニ對シ兵器ヲ用ヒ暴行ヲ爲ス者ハ死刑ニ處ス
第八十五條 軍人上官ニ對シ兵器ヲ用ヒ暴行ヲ爲ス者ハ死刑ニ處ス
第八十六條 軍人上官ニ對シ兵器ヲ用ヒ暴行ヲ爲ス者ハ死刑ニ處ス
第八十七條 軍人上官ニ對シ兵器ヲ用ヒ暴行ヲ爲ス者ハ死刑ニ處ス
第八十八條 軍人上官ニ對シ兵器ヲ用ヒ暴行ヲ爲ス者ハ死刑ニ處ス
第八十九條 軍人上官ニ對シ兵器ヲ用ヒ暴行ヲ爲ス者ハ死刑ニ處ス
第九十條 軍人上官ニ對シ兵器ヲ用ヒ暴行ヲ爲ス者ハ死刑ニ處ス
第九十一條 軍人上官ニ對シ兵器ヲ用ヒ暴行ヲ爲ス者ハ死刑ニ處ス
第九十二條 軍人上官ニ對シ兵器ヲ用ヒ暴行ヲ爲ス者ハ死刑ニ處ス
第九十三條 軍人上官ニ對シ兵器ヲ用ヒ暴行ヲ爲ス者ハ死刑ニ處ス
第九十四條 軍人上官ニ對シ兵器ヲ用ヒ暴行ヲ爲ス者ハ死刑ニ處ス
第九十五條 軍人上官ニ對シ兵器ヲ用ヒ暴行ヲ爲ス者ハ死刑ニ處ス
第九十六條 軍人上官ニ對シ兵器ヲ用ヒ暴行ヲ爲ス者ハ死刑ニ處ス
第九十七條 軍人上官ニ對シ兵器ヲ用ヒ暴行ヲ爲ス者ハ死刑ニ處ス
第九十八條 軍人上官ニ對シ兵器ヲ用ヒ暴行ヲ爲ス者ハ死刑ニ處ス
第九十九條 軍人上官ニ對シ兵器ヲ用ヒ暴行ヲ爲ス者ハ死刑ニ處ス
第一百條 軍人上官ニ對シ兵器ヲ用ヒ暴行ヲ爲ス者ハ死刑ニ處ス

陸軍第三一六號

陸軍刑法改正案本期議會ニ提出相成度法律案
及理由ヲ具シ閣議ヲ請フ

明治四十一年一月二十五日

陸軍大臣子爵寺内正毅



内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

陸軍刑法草案

陸軍刑法

第一編 總則

第二編 罪

第一章

第二章

第三章

第四章

第五章

第六章

第七章

第八章

第九章

叛亂，罪

擅權，罪

辱職，罪

抗命，罪

暴行脅迫，罪

侮辱，罪

逃亡，罪

軍用物損壞，罪

竊奪，罪

第十五章 俘虜ニ關スル罪
第十一章 違令ノ罪

陸軍刑法

第一編 總則

第一條 本法ハ陸軍軍人ニシテ罪ヲ犯シタル者ニ之ヲ適用ス

第二條 本法ハ陸軍軍人ニ非スト雖左ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者ニ之ヲ適用ス

一 第六十七條乃至第七十條ノ罪及此等ノ罪ノ未遂罪

二 第七十七條ノ罪

三 第八十二條乃至第八十八條ノ罪

四 第八十九條乃至第九十二條ノ罪

五 第九十四條乃至第九十六條ノ罪及第九十四條、第

九千五條ノ未遂罪

六 第九千八條第一項、第九千九條、第百條第二項及
第百二條ノ罪

第三條 本法ハ前二條ニ記載シタル者帝國外ニ於テ
罪ヲ犯シタルトキト雖之ヲ適用ス

第四條 帝國軍ノ占領地ニ於テ陸軍軍人刑法又ハ
他ノ法令ノ罪ヲ犯シタルトキハ之ヲ帝國内ニ於テ犯シタ
ルモノト看做ス

陸軍軍人ニ非ストモ前項ニ國臣民、從軍外國人及俘
虜ノ犯シタルトキ亦同シ

第五條 帝國外ニ在リテ部隊ニ屬シ若ハ從テ者又ハ
之ニ俘虜タル者其ノ部隊ノ所在地ニ於テ刑法又
ハ他ノ法令ノ罪ヲ犯シタルトキ亦前條ニ同シ

第六條 陸軍ト共同作戰ニ從テ海軍軍人ニ對スル
行為ハ其ノ職務、官等、等級又ハ階級ニ相當ス
ル陸軍軍人ニ對スル行為ト看做ス

第七條 陸軍ト共同作戰ニ從テ外國ノ陸海軍ニ
屬スル者ニ對スル行為ハ其ノ職務、官等、等級又
ハ階級ニ相當スル陸軍軍人ニ對スル行為ト看做ス
第八條 陸軍軍人ト稱スルハ左ニ記載シタル者ヲ謂
フ

一 陸軍ノ現役ニ在ル者但シ未タ入營セリル者及
歸休兵ヲ除ク

二 召集中ノ在郷軍人

三 召集ニ依ラス部隊ニ在リテ陸軍軍人ノ勤務ニ
服スル在郷軍人

九千五條ノ未遂罪

六 第九千八條第一項、第九千九條、第百條第二項及第百二條ノ罪

第三條 本法ハ前二條ニ記載シタル者帝國外ニ於テ罪ヲ犯シタルトキト雖之ヲ適用ス

第四條 帝國軍、占領地ニ於テ陸軍軍人刑法又ハ他ノ法令ノ罪ヲ犯シタルトキハ之ヲ帝國内ニ於テ犯シタルモノト看做ス

陸軍軍人ニ非スト雖帝國臣民、從軍外國人及俘虜ノ犯シタルトキハ同シ

第五條 帝國外ニ在リテ部隊ニ屬シ若ハ從テ者又ハ之ニ俘虜タル者其ノ部隊、所在地ニ於テ刑法又ハ他ノ法令ノ罪ヲ犯シタルトキ亦前條ニ同シ

第六條 陸軍ト共同作戰ニ從テ海軍軍人ニ對スル行為ハ其ノ職務、官等、等級又ハ階級ニ相當スル陸軍軍人ニ對スル行為ト看做ス

第七條 陸軍ト共同作戰ニ從テ外國ノ陸海軍ニ屬スル者ニ對スル行為ハ其ノ職務、官等、等級又ハ階級ニ相當スル陸軍軍人ニ對スル行為ト看做ス

第八條 陸軍軍人ト稱スルハ左ニ記載シタル者ヲ謂フ

一 陸軍ノ現役ニ在ル者但シ未タ入營セリル者及歸休兵ヲ除キ

二 召集中ノ在郷軍人

三 召集ニ依ラス部隊ニ在リテ陸軍軍人ノ勤務ニ服スル在郷軍人

四 前二號ニ記載シタル者、外陸軍、制服着用
中又ハ現ニ服役上、義務履行中、在郷軍
人

五 志強ニ依リ國民軍隊ニ編入セラレ服務中ノ
者

第九條 左ニ記載シタル者ハ陸軍軍人ニ準ス

一 陸軍所屬ノ學生、生徒

二 陸軍軍屬

三 陸軍ノ勤務ニ服スル海軍軍人

前項第一號ニ記載シタル者、中特ニ除外スヘキ者
アルトキハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條 陸軍將校相當官、陸軍准士官、海軍將
校、同相當官及海軍准士官ハ陸軍將校ニ準ス

陸軍士官ノ候補者ニシテ士官ノ勤務ニ服スル者及海
軍候補生亦同シ

第十一條 陸軍士官ノ候補者ニシテ下士ノ階級ニ在
リ士官ノ勤務ニ服セサル者ハ陸軍下士ニ準ス

第十二條 陸軍ノ兵役ニ在リテ官等、等級ヲ有セサ
ル者ハ兵卒ニ準ス陸軍士官ノ候補者ニシテ兵卒ノ
階級ニ在ル者亦同シ

第十三條 在郷軍人ト稱スルハ陸軍ノ現役以外ノ役
ニ在ル者、陸軍ノ現役ニ在リテ未タ入營セサル者、陸
軍ノ歸休兵及退役陸軍將校、同相當官、准士官
ヲ謂フ

第十四條 陸軍軍屬ト稱スルハ陸軍文官、同待遇
者及宣誓シテ陸軍ノ勤務ニ服スル者ヲ謂フ但シ

豫備又ハ退縮ノ文官ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 海軍軍人ト稱スルハ海軍刑法ニ於テ海軍軍人ト為ス者ヲ謂フ

第十六條 上官ト稱スルハ命令關係アル陸軍軍人間ニ於テ命令權ヲ有スル者ヲ謂フ

命令關係ナキ者ノ間ニ於テハ官等、等級又ハ階級、トナル者ハ上官ト官ニ準ス但シ兵卒ハ下士勤務上等兵ヲ除リ外總テ同等トス

第十七條 司令官ト稱スルハ軍隊ノ司令ニ任スル陸軍軍人ヲ謂フ

第十八條 哨兵ト稱スルハ儀仗又ハ警戒、爲守地ニ在ル陸軍軍人ヲ謂フ

第十九條 部隊ト稱スルハ陸軍ノ軍隊、官衙、學校、

特務機關及戰時ニ於ケル陸軍ノ特設機關ヲ謂フ

第二十條 戰時ト稱スルハ宣戰ノ公布アリタル時又ハ現ニ開戰シタル時ヨリ平和克復ノ時迄ヲ謂フ

第二十一條 軍中ト稱スルハ左ニ記載シタル部隊ニ在ル場合ヲ謂フ

一 戰時ノ體勢ヲ執リタル部隊但シ留守部隊、衛戍勤務ニ服スル後備又ハ國民諸隊、戰地以外ノ地ニ在ル輸送又ハ補給諸機關ニシテ對敵狀態ニ在ラサルモノヲ除ク

二 戰時ノ體勢ヲ執ラサルモ對敵狀態ニ在ル部隊

三 内亂、事變又ハ一地方ノ騷擾ニ際シ其ノ鎮定ニ從事スル部隊

第二十二條 陸軍ニ於テ死刑ヲ執行スルトキハ陸軍法衙

ヲ管轄スル長官ノ定ムル場所ニ於テ殺ス

第二十三條 前條ノ規定ハ刑法又ハ他ノ法令ニ依リ處斷シタル場合ニ亦之ヲ適用ス

第二十四條 多衆共同ノ暴行ヲ鎮壓スル爲又ハ敵前ニ在ル部隊ノ急迫ニ臨ミ軍紀ヲ保持スル爲己ムコトヲ得サルニ出テタル行爲ハ之ヲ罰セズ

必要ノ程度ヲ超エタル行爲ハ情狀ニ因リ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第二十五條 前條ノ規定ハ刑法又ハ他ノ法令ノ罪ト爲ルヘキ行爲ニ亦之ヲ適用ス

第二十六條 本法ニ依リ死刑ニ處セラレタル者具ノ執行ノ免除アリタル日ヨリ五年内ニ更ニ本法ノ刑法又ハ他ノ法令ノ罪ヲ犯シ有期懲役ニ處スヘキトキハ前ノ罪

ヲ懲役ニ該ル罪ト同質ノ罪ト認ムルトキニ至リテ再犯トス

第二十七條 本法及海軍刑法陸軍軍人ニ對シテハアリ且其ノ刑ニ輕重ヲキトキハ海軍軍人ニ對シテハ海軍刑法ヲ適用ス

第二編 罪

第一章 叛亂ノ罪

第二十八條 密謀ヲ結ビ兵器ヲ執リ反亂ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 首魁ハ死刑ニ處ス

二 謀議ニ參與シ又ハ群衆ヲ指揮ヲ爲シタル者ハ死刑無期若ハ五年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他諸般ノ職務ニ從事シタル者ハ三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

ヲ管轄スル長官ノ定ムル場所ニ於テ銃殺ス

第二十三條 前條ノ規定ハ刑法又ハ他ノ法令ニ依リ處斷シタル場合ニ亦之ヲ適用ス

第二十四條 多衆共同ノ暴行ヲ鎮壓スル爲又ハ敵前ニ在ル部隊ノ急迫ニ臨ミ軍紀ヲ保持スル爲己ムコトヲ得サルニ出テタル行爲ハ之ヲ罰セズ

必要ノ程度ヲ超エタル行爲ハ情狀ニ因リ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第二十五條 前條ノ規定ハ刑法又ハ他ノ法令ノ罪ト爲ルヘキ行爲ニ亦之ヲ適用ス

第二十六條 本法ニ依リ死刑ニ處セラレタル者具ノ執行ノ免除アリタル日ヨリ五年内ニ更ニ本法ノ刑法又ハ他ノ法令ノ罪ヲ犯シ有期懲役ニ處スヘキトキハ前ノ罪

ヲ懲役ニ該ル罪ト同質ノ罪ト認ムルトキニ限り之ヲ再犯トス

第二十七條 本法及海軍刑法ニ於テ俱ニ罰スヘキ正條アリ且其ノ刑ニ輕重ナキハ海軍軍人ニ對シテハ海軍刑法ヲ適用ス

第二編

第一章

叛亂ノ罪

第二十八條 黨ヲ結ビ兵器ヲ執リ反亂ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 首魁ハ死刑ニ處ス

二 謀議ニ參與シ又ハ群衆ノ指揮ヲ爲シタル者ハ死刑無期若ハ五年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他諸般ノ職務ニ從事シタル者ハ三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三 附和隨行シタル者ハ五年以下、懲役又ハ禁錮ニ處ス
第二十九條 反亂ヲ爲ス目的ヲ以テ黨ヲ結ビ兵器、彈藥其

ノ他軍用ニ供スル物ヲ劫掠シタル者ハ前條ノ例ニ同シ

第三十條 左ニ記載シタル行爲ヲ爲シタル者ハ死刑ニ處ス

一 軍隊又ハ要塞、陣營、艦船、兵器、彈藥其ノ他軍用ニ
供スル場所若ハ物ヲ敵國ニ交付シタルトキ

二 敵國ノ爲ニ間諜ヲ爲シ又ハ敵國ノ間諜ヲ幫助シタルトキ

三 軍事上ノ秘密ヲ敵國ニ漏泄シタルトキ

四 敵國ノ爲ニ嚮導ヲ爲シ又ハ地理ヲ指示シタルトキ

五 敵國ニ降ラシムル爲司令官ヲ強要シタルトキ

六 敵國ノ爲ニ俘虜ヲ奪取シ又ハ之ヲ逃走セシメタルトキ

第三十一條 敵國ヲ利スル爲左ニ記載シタル行爲ヲ爲シタル者ハ死刑ニ
處ス

一 要塞、陣營、艦船、兵器、彈藥其ノ他軍用ニ供スル場所又ハ物
ヲ損壞シ又ハ使用スルニ能ハサルニ至ラシメタルトキ

二 水陸ノ通路、橋梁ヲ損壞又ハ壅塞シ又ハ其ノ他ノ方法
ヲ以テ軍隊、艦船ノ往來ノ妨害ヲ生セシメタルトキ

三 司令官軍隊ヲ率リテ守地若ハ配置ノ地ニ就マス又ハ其
ノ地ヲ離レタルトキ

四 隊兵ヲ解散シ又ハ其ノ潰走混亂ヲ誘起シ又ハ其ノ
連絡集合ヲ妨害シタルトキ

五 兵器、彈藥、糧食、被服其ノ他軍用ニ供スル物ヲ毀
全セシメタルトキ

六 命令、通報若ハ報告ヲ詐リ傳ヘ又ハ虛偽ノ命令、通報
若ハ報告ヲ爲シタルトキ

七 造言飛語シ又ハ敵前ニ於テ叫呼喧噪シタルトキ

第三十二條 前二條ニ記載シタル以外ノ方法ヲ以テ敵國ノ軍事上ノ利益ヲ與ヘ又ハ帝國ノ軍事上ノ利益ヲ害シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第三十三條 反亂者又ハ内亂者ヲ利スル爲前二條ニ記載シタル行爲ヲ爲シタル者ハ死刑、無期若ハ三年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第三十四條 前六條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第三十五條 第二十八條乃至第三十三條ノ罪ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ一年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第三十六條 第二十八條又ハ第二十九條ノ罪ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者未タ事ヲ行ハサル前自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減降ス

第三十七條 本章ノ規定ハ戰時同盟國ニ對スル行爲ニ亦之ヲ適用ス

第二章 擅權ノ罪

第三十八條 司令官外國ニ對シ故ナク戰闘ヲ開始シタルトキハ死刑ニ處ス

第三十九條 司令官休戰又ハ媾和ノ告知ヲ受ケタル後故ナク戰闘ヲ爲シタルトキハ死刑ニ處ス

第四十條 司令官權外ノ事ニ於テ已ムコトヲ得サル理由ナクシテ擅ニ軍隊ヲ進退シタルトキハ死刑又ハ無期若ハ七年以上ノ禁錮ニ處ス

第四十一條 命令ヲ待タズ故ナク戰闘ヲ爲シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ七年以上ノ禁錮ニ處ス

第四十二條 本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第三章 辱職ノ罪

第四十三條 司令官其ノ盡スヘキ所ヲ盡サスシテ

敵ニ降り又ハ要塞ヲ敵ニ委シタルトキハ死刑ニ處ス
第四十四條 司令官野戰ノ時ニ在リテ隊兵ヲ率升
敵ニ降りタルトキハ其ノ盡スヘキ所ヲ盡シタル場合
ト雖六月以下ノ禁錮ニ處ス

第四十五條 司令官敵前ニ於テ其ノ盡スヘキ所ヲ
盡サスレテ隊兵ヲ率升逃避シタルトキハ死刑ニ處
ス

第四十六條 司令官軍隊ヲ率升故ナク守地若ハ配
置ノ地ニ就カス又ハ其ノ地ヲ離レタルトキハ左ノ區
別ニ從テ處斷ス
一敵前ナルトキハ死刑ニ處ス
二戰時、軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ五年以上ノ有
期禁錮ニ處ス

三其ノ他ノ場合ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第四十七條 司令官出兵ヲ要求スル權アル官憲ヨ
リ其ノ要求ヲ受ケ故ナク之ニ應セサルトキハ二年
以下ノ禁錮ニ處ス

第四十八條 將校部隊若ハ一部ノ兵員ヲ率升又ハ
之ニ屬シ輸送船舶ニ在リテ敵ノ艦船ニ遭遇シ
タル際其ノ盡スヘキ所ヲ盡サスレテ其ノ船舶ヲ
退去シタルトキハ死刑、無期若ハ十年以上ノ懲役又
ハ禁錮ニ處ス

第四十九條 部下多衆共同シテ罪ヲ犯スニ當リ鎮
定ノ方法ヲ盡ササル者ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十條 哨兵故ナク守地ヲ離レタルトキハ左ノ區別
ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

三其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十一條 哨兵睡眠又ハ酩酊シテ其ノ職務ヲ怠リタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ五年以下ノ禁錮ニ處ス

二其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十二條 衛兵、控兵、巡察、斥候其ノ他警戒

又ハ傳令ノ勤務ニ服スル者故ナク勤務ノ場所若ハ隊伍ヲ離レタルトキ又ハ到ルヘキ場所ニ到ラサルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ死刑又ハ無期若ハ十年以上ノ禁

錮ニ處ス

二軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ二年以下ノ禁錮

ニ處ス

三其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十三條 故ナク規則ニ依ラスレテ哨兵ヲ交代

セシメ其ノ他哨令ニ違反シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ一年以上五年以下ノ禁錮ニ處ス

二軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

三其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十四條 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ斥候、巡

査、哨兵、衛兵、控兵、巡察、斥候、其ノ他警戒、勤務、傳令、勤務、場所、離レタルトキ、又ハ到ルヘキ場所ニ到ラサルトキ、又ハ無期若ハ十年以上ノ禁錮ニ處ス

一敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

三其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十一條 哨兵睡眠又ハ酩酊シテ其ノ職務ヲ怠リタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ五年以下ノ禁錮ニ處ス

二其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十二條 衛兵、控兵、巡察、乍候其ノ他警戒

又ハ傳令ノ勤務ニ服スル者故ナク勤務ノ場所若ハ隊伍ヲ離レタルトキ又ハ到ルヘキ場所ニ到ラサルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ死刑又ハ無期若ハ十年以上ノ禁

錮ニ處ス

二軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

三其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十三條 故ナク規則ニ依ラスシテ哨兵ヲ交代

セシメ其ノ他哨令ニ違反シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ一年以上五年以下ノ禁錮ニ處ス

二軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

三其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十四條 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ乍候、巡

ルトキハ一年以下ノ懲役ニ處ス 服スル者虚偽ノ報告ヲ爲シタ
ル者ハ又ハ戒嚴地境ニ在リテ、軍事ニ關スル命令、通

一敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

三其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十一條 哨兵睡眠又ハ酩酊シテ其ノ職務ヲ怠

リタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ五年以下ノ禁錮ニ處ス

二其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十二條 衛兵、控兵、巡察、斥候其ノ他警戒

又ハ傳令ノ勤務ニ服スル者故ナク勤務ノ場所

若ハ隊伍ヲ離レタルトキ又ハ到ルヘキ場所ニ到ラ

サルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ死刑又ハ無期若ハ十年以上ノ禁

錮ニ處ス

二軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ二年以下ノ禁錮

ニ處ス

三其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十三條 故ナク規則ニ依ラスシテ哨兵ヲ交代

セシメ其ノ他哨令ニ違反シタル者ハ左ノ區別ニ

從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ一年以上五年以下ノ禁錮ニ處ス

二軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

三其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十四條 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ斥候、巡

察又ハ偵察ノ勤務ニ服スル者虚偽ノ報告ヲ爲シタ

戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ、軍事ニ關スル命令、通

報又ハ報告ノ傳達ヲ掌ル者其ノ命令、通報告
告ヲ詐リ傳ヘ又ハ故ナク之ヲ傳達セサルトキ亦同シ
第五十五條 軍事機密、圖書、物件ヲ保管スル者
危急ノ時ニ當リ之ヲ敵ニ委セサル方法ヲ盡ササル
トキハ五年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十六條 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ兵器、
彈藥、糧食、被服其ノ他軍用ニ供スル物ノ運搬又ハ
支給ヲ掌ル者故ナク之ヲ缺乏セシメタルトキハ一年
以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第五十七條 健康ヲ害スヘキ飲食物ヲ配給シタル者
ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス因テ人ヲ死ニ致シ
タル者ハ無期又ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第五十八條 從軍ヲ免レ又ハ危險ナル勤務ヲ避クル

目的ヲ以テ疾病ヲ作爲シ、身體ヲ毀傷シ其ノ他詐偽
ノ行爲ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス
一敵前ナルトキハ五年以上ノ有期懲役ニ處ス
二其ノ他ノ場合ナルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス
第五十九條 第四十三條、第四十五條、第四十一條、第
四十八條、第五十條、第五十二條、第五十四條、第五十
六條乃至第五十八條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第四章 抗命ノ罪

第六十條 上官ノ命令ニ反抗シ又ハ之ニ服從セサル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス
一敵前ナルトキハ死刑又ハ無期若ハ十年以上ノ禁錮ニ處ス
二軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ一年以上七年以下ノ禁錮ニ處ス
三其ノ他ノ場合ナルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第六十一條 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

報又ハ報告ノ傳達ヲ掌ル者其ノ命令、通報若ハ報告ヲ詐リ傳ヘ又ハ故ナク之ヲ傳達セサルト同シ

第五十五條 軍事機密ノ圖書、物件ヲ保管スル者危急ノ時ニ當リ之ヲ敵ニ委セサル方法ヲ盡ササルトキハ五年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十六條 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ兵器、彈藥、糧食、被服其ノ他軍用ニ供スル物ノ運搬又ハ支給ヲ掌ル者故ナク之ヲ缺乏セシメタルトキハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第五十七條 健康ヲ害スヘキ飲食物ヲ配給シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ無期又ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第五十八條 從軍ヲ免レ又ハ危險ナル勤務ヲ避クル

目的ヲ以テ疾病ヲ作爲シ、身體ヲ毀傷シ其ノ他詐偽ノ行爲ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ五年以上ノ有期懲役ニ處ス

二其ノ他ノ場合ナルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第五十九條 第四十三條、第四十五條、第四十一條、第

四十八條、第五十條、第五十二條、第五十四條、第五十

六條至第五十八條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第四章 抗命ノ罪

第六十條 上官ノ命令ニ反抗シ又ハ之ニ服從セサル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ死刑又ハ無期若ハ十年以上ノ禁錮ニ處ス

二軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ一年以上七年以下ノ禁錮ニ處ス

三其ノ他ノ場合ナルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第六十一條 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ首魁ハ死刑ニ處シ其ノ他ノ者ハ死刑又ハ無期禁錮ニ處ス

二軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ首魁ハ無期又ハ五年以上ノ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ一年以上十年以下ノ禁錮ニ處ス

三其ノ他ノ場合ナルトキハ首魁ハ三年以上十年以下ノ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ五年以下ノ禁錮ニ處ス

第六十二條 暴行ヲ爲スニ當リ上官ノ制止ニ從ハサル者ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第五章 暴行脅迫ノ罪

第六十三條 上官ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス
二其ノ他ノ場合ナルトキハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十四條 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ無期若ハ十年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二其ノ他ノ場合ナルトキハ首魁ハ五年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十五條 上官ニ對シ兵器又ハ兇器ヲ用ヰテ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ死刑、無期若ハ十年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス
二其ノ他ノ場合ナルトキハ無期若ハ一年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十六條 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ首魁ハ死刑ニ處シ其ノ他ノ者ハ死刑又ハ無

期、懲役若ハ禁錮ニ處ス

二其、他、場合ナルトキハ首魁ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處シ
其、他、者ハ死刑、無期若ハ五年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十七條 哨兵ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區
別ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二其、他、場合ナルトキハ四年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十八條 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從
テ處斷ス

一敵前ナルトキハ首魁ハ三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ
其、他、者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二其、他、場合ナルトキハ首魁ハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁
錮ニ處シ其、他、者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十九條 哨兵ニ對シ兵器又ハ兇器ヲ用テ暴行又ハ脅

迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ無期若ハ五年以上ノ懲役又ハ禁錮
ニ處ス

二其、他、場合ナルトキハ一年以上ノ有期ノ懲役又ハ
禁錮ニ處ス

第七十條 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ
從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ首魁ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁
錮ニ處シ其、他、者ハ無期若ハ七年以上ノ懲役又

ハ禁錮ニ處ス

二其、他、場合ナルトキハ首魁ハ死刑、無期若ハ七年
以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其、他、者ハ無期若ハ二年

国立公文書館
National Archives of Japan

又ハ禁銅ニ處ス

銅
二
處
又

タル者ハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

懲役又ハ禁錮ニ處ス

七十三條

區別ニ從テ處斷ス

一首戀ハ三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三 附和隨行シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

德役又ハ禁銅ニ處ス

第七十五條
第六十三條乃至第七十三條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第六章 侮辱，罪

又ハ禁銅ニ處ス

文書、圖畫若ハ偶像ヲ公示シ又ハ演說ヲ爲シ其ノ他公然ノ方法

ヲ以テ上官ヲ侮辱シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス
第七十七條 哨兵ヲ其ノ面前ニ於テ侮辱シタル者ハ二年以下ノ懲役
又ハ禁錮ニ處ス

第七章 逃亡ノ罪

第七十八條 故ナク職役ヲ離レ又ハ職役ニ就カサル者ハ左ノ區別ニ從テ
處断ス

一 敵前ナルトキハ死刑、無期若ハ五年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス
二 戦時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ三日ヲ過キタルトキハ五年以下ノ
懲役又ハ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ニ於テ六日ヲ過キタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ禁錮
ニ處ス

第七十九條 黨與ニテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處断ス
一 敵前ナルトキハ首魁ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處シ其ノ

他ノ者ハ死刑、無期若ハ七年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 戦時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ三日ヲ過キタルトキハ首魁ハ五
年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ六月以上七年以
下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ニ於テ六日ヲ過キタルトキハ首魁ハ一年以上七年以下
ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處
ス

第八十條 敵ニ奔リタル者ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處ス

第八十一條 第七十八條第一號、第七十九條第一號及前條ノ未遂罪ハ之
ヲ罰ス

第八章 軍用物損壞ノ罪

第八十二條 陸軍ノ工場、船舶、戰鬪ノ用ニ供スル建造物、汽車、電車若ハ
橋梁又ハ陸軍ノ軍用ニ供スル物ヲ貯藏スル倉庫ヲ燒燬シタル者ハ

死刑又は無期懲役之處ス

第八十三條 露積シタル兵器、彈藥、糧食、被服其、他陸軍ノ軍用ニ供スル物ヲ燒燬シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ死刑又は無期懲役之處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ無期又は二年以上ノ懲役之處ス

第八十四條 火藥、汽罐其、他激發スヘキ物ヲ破裂セシメラ前二條ニ記載シタル物ヲ損壞シタル者ハ燒燬ノ例ニ同シ

第八十五條 第八十二條ニ記載シタル物又ハ陸軍戰鬪ノ用ニ供スル鐵道、電線若ハ水陸ノ通路ヲ損壞シ又ハ使用スルコト能ハサルに至ラシメタル者ハ無期又は二年以上ノ懲役之處ス

第八十六條 兵器、彈藥、糧食、被服、馬匹其、他陸軍ノ軍用ニ供スル物ヲ毀棄又ハ傷害シタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第八十七條 第八十二條乃至第八十五條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第八十八條 本章ノ規定ハ陸軍ト共同作戰ニ從テ外國陸海軍ノ軍用物ニ對スル行為ニ亦之ヲ適用ス

第九章 掠奪ノ罪

第八十九條 戰地又ハ帝國軍ノ占領地ニ於テ住民ノ財物ヲ掠奪シタル者ハ一年以上ノ有期懲役之處ス

前項ノ罪ヲ犯スニ當リ婦女ヲ強姦シタルトキハ無期又は七年以上ノ懲役ニ處ス

第九十條 戰場ニ於テ戰死者又ハ戰傷病者ノ衣服其、他ノ財物ヲ褫奪シタル者ハ一年以上ノ有期懲役ニ處ス

第九十一條 前二條ノ罪ヲ犯スル者人ヲ傷シタルトキハ無期又は七年以上ノ懲役ニ處シ死ニ致シタルトキハ死刑又は無期懲役ニ處ス

第九十二條 本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十章 俘虜ニ關スル罪

第九十三條 俘虜ヲ看守又ハ護送スル者其ノ俘虜ヲ逃走セシメタルトキハ三年以上ノ有期懲役ニ處ス

第九十四條 俘虜ヲ逃走セシムル目的ヲ以テ器具ヲ給與シ其ノ他逃走ヲ容易ナシムヘキ行為ヲ為シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ目的ヲ以テ暴行又ハ脅迫ヲ為シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第九十五條 俘虜ヲ奪取シタル者ハ三年以上ノ有期懲役ニ處ス

第九十六條 逃走シタル俘虜ヲ藏匿シ又ハ隠避セシメタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第九十七條 第九十三條乃至第九十五條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十一章 違令ノ罪

第九十八條 哨兵ヲ欺キテ哨所ヲ通過シ又ハ哨兵ヲ制止ニ背キタル者ハ左

ノ區別ニ從テ處断ス

一 敵前ナルトキハ一年以上五年以下ノ禁錮ニ處ス

二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以上ノ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

前項ノ哨兵ニ對シ哨令ヲ犯シタル者亦同シ

第九十九條 在郷軍人故テ召集ノ期限ニ後シタルトキハ左ノ區別ニ從テ處断ス

一 戰時ニ際シ又ハ事變ヲ為召集ヲ受ケタル場合ニ於テ五日ヲ過タル者ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ニ於テ十日ヲ過タル者ハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第一百條 兵役ヲ免ルル目的ヲ以テ疾病ヲ作為シ、身體ヲ毀傷シ其ノ他詐偽ノ行為ヲ為シタル者ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

在郷軍人召集ヲ免ルル目的ヲ以テ前項ノ行為ヲ為シタルトキ亦同シ

第一百一條 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ軍事ニ關スル虚偽ノ命令、

通報又ハ報告ヲ為シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス。

第一百二條 戰時又ハ事變ニ際シ軍事ニ關シ造言飛語ヲ為シタル者ハ

三年以下ノ禁錮ニ處ス。

第一百三條 禮砲、號砲具ノ他空包ヲ發スヘキ場合ニ於テ彈丸、瓦石具、

他ノ物ヲ裝填シテ發シタル者ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス。

第一百四條 哨兵又ハ衛兵故ヲシテ銃砲ヲ發シタル者ハ二年以下ノ禁錮

ニ處ス。

第一百五條 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ急呼ノ號報ヲリタル場合ニ於

テ來會セサル者ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス。

第一百六條 政治ニ關シ上書、建白其ノ他請願ヲ為シ又ハ演說若ハ文書ヲ以テ

意見ヲ公シタル者ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス。

第一百七條 服從ノ道ニ違フヘキ事ヲ目的トシテ黨ヲ結ビタル者ハ百觔

ハ六月以上五年以下ノ禁錮ニ處シ具ノ他ノ者ハ二年以下ノ禁錮
ニ處ス。

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム。

明治十四年 第六十九號 市告陸軍刑法ハ之ヲ廢止ス。

陸軍刑法案理由書

刑法ノ改正ニ伴ヒ且不備ノ點ヲ修補スニ為陸軍刑法ヲ改正スルノ
必要アリ是レ本案ヲ提出スル所以ナリ

陸軍刑法案理由書

刑法ノ改正ニ伴ヒ且不備ノ點ヲ修補スニ為陸軍刑法ヲ改正スルノ
必要アリ是ニ本案ヲ提出ス所以ナリ

陸
軍
刑
法
案

和合

陸

軍 利

刑

法

案

陸軍刑法

第一編 總則

第二編 罪

第一章 叛亂ノ罪

第二章 擅權ノ罪

第三章 辱職ノ罪

第四章 抗命ノ罪

第五章 暴行脅迫ノ罪

第六章 侮辱ノ罪

第七章 逃亡ノ罪

第八章 軍用物損壞ノ罪

第九章 掠奪ノ罪

第十章 俘虜ニ關スル罪

第十一章 違令ノ罪

二

陸軍刑法

第一編 總則

第一條 本法ハ陸軍軍人ニシテ罪ヲ犯シタル者ニ之ヲ適用ス

第二條 本法ハ陸軍軍人ニ非スト雖左ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者ニ之ヲ適用ス

一 第六十七條乃至第七十條ノ罪及此等ノ罪ノ未遂罪

二 第七十七條ノ罪

三 第八十二條乃至第八十八條ノ罪

四 第八十九條乃至第九十二條ノ罪

五 第九十四條乃至第九十六條ノ罪及第九十四條、第九十五條ノ未遂罪

六 第九十八條第一項、第九十九條、第一百條第二項及第一百二條ノ罪

第三條 本法ハ前二條ニ記載シタル者帝國外ニ於テ罪ヲ犯シタルトキト雖之ヲ適用ス

一

第四條 帝國軍ノ占領地ニ於テ陸軍軍人刑法又ハ他ノ法令ノ罪ヲ犯シタルトキハ之ヲ帝國内ニ於テ犯シタルモノト看做ス

陸軍軍人ニ非スト雖帝國臣民、從軍外國人及俘虜ノ犯シタルトキ亦前項ニ同シ

第五條 帝國外ニ在ル部隊ニ屬シ若ハ從フ者又ハ之ニ俘虜タル者其ノ部隊ノ所在地ニ於テ刑法又ハ他ノ法令ノ罪ヲ犯シタルトキ亦前條ニ同シ

第六條 陸軍ト共同作戰ニ從フ海軍軍人ニ對スル行爲ハ其ノ職務、官等、等級又ハ階級ニ相當スル陸軍軍人ニ對スル行爲ト看做ス

第七條 陸軍ト共同作戰ニ從フ外國ノ陸海軍ニ屬スル者ニ對スル行爲ハ其ノ職務、官等、等級又ハ階級ニ相當スル陸軍軍人ニ對スル行爲ト看做ス

第八條 陸軍軍人ト稱スルハ左ニ記載シタル者ヲ謂フ

一 陸軍ノ現役ニ在ル者但シ未タ入營セサル者及歸休兵ヲ除ク

二 召集中ノ在郷軍人

三 召集ニ依ラス部隊ニ在リテ陸軍軍人ノ勤務ニ服スル在郷軍人

四 前二號ニ記載シタル者ノ外陸軍ノ制服着用中又ハ現ニ服役上ノ義務履行中ノ在郷軍人

五 志願ニ依リ國民軍隊ニ編入セラレ服務中ノ者

第九條 左ニ記載シタル者ハ陸軍軍人ニ準ス

一 陸軍所屬ノ學生、生徒

二 陸軍軍屬

三 陸軍ノ勤務ニ服スル海軍軍人

前項第一號ニ記載シタル者ノ中特ニ除外スヘキ者アルトキハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條 陸軍將校相當官、陸軍准士官、海軍將校、同相當官及海軍准士官ハ陸軍將校ニ準ス陸軍士官ノ候補者ニシテ士官ノ勤務ニ服スル者及海軍候補生亦同シ

第十一條 陸軍士官ノ候補者ニシテ下士ノ階級ニ在リ士官ノ勤務ニ服セサル者ハ陸軍下士ニ準ス
 第十二條 陸軍ノ兵役ニ在リテ官等、等級ヲ有セサル者ハ兵卒ニ準ス陸軍士官ノ候補者ニシテ兵卒ノ階級ニ在ル者亦同シ

第十三條 在郷軍人ト稱スルハ陸軍ノ現役以外ノ役ニ在ル者、陸軍ノ現役ニ在リテ未タ入營セサル者、陸軍ノ歸休兵及退役陸軍將校、同相當官、准士官ヲ謂フ

第十四條 陸軍軍屬ト稱スルハ陸軍文官、同待遇者及宣誓シテ陸軍ノ勤務ニ服スル者ヲ謂フ但シ豫備又ハ退職ノ文官ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 海軍軍人ト稱スルハ海軍刑法ニ於テ海軍軍人ト爲ス者ヲ謂フ

第十六條 上官ト稱スルハ命令關係アル陸軍軍人間ニ於テ命令權ヲ有スル者ヲ謂フ

命令關係ナキ者ノ間ニ於テハ官等、等級又ハ階級ノ上ナル者ハ之ヲ上官ニ準ス但シ兵卒ハ下士勤務上等兵ヲ除クノ外總テ同等トス

第十七條 司令官ト稱スルハ軍隊ノ司令ニ任スル陸軍軍人ヲ謂フ

第十八條 哨兵ト稱スルハ儀仗又ハ警戒ノ爲守地ニ在ル陸軍軍人ヲ謂フ

第十九條 部隊ト稱スルハ陸軍ノ軍隊、官衙、學校、特務機關及戰時ニ於ケル陸軍ノ特設機關ヲ謂フ

第二十條 戰時ト稱スルハ宣戰ノ公布アリタル時又ハ現ニ開戰シタル時ヨリ平和克復ノ時迄ヲ謂フ

第二十一條 軍中ト稱スルハ左ニ記載シタル部隊ニ在ル場合ヲ謂フ

一 戰時ノ體勢ヲ執リタル部隊但シ留守部隊、衛戍勤務ニ服スル後備又ハ國民諸隊、戰地以外ノ地ニ在ル輸送又ハ補給諸機關ニシテ對敵狀態ニ在ラサルモノヲ除ク

二 戰時ノ體勢ヲ執ラサルモ對敵狀態ニ在ル部隊

三 内亂事變又ハ一地方ノ騷擾ニ際シ其ノ鎮定ニ從事スル部隊

第二十二條 陸軍ニ於テ死刑ヲ執行スルトキハ陸軍法衙ヲ管轄スル長官ノ定ムル場所ニ於テ銃殺ス

第二十三條 前條ノ規定ハ刑法又ハ他ノ法令ニ依リ處斷シタル場合ニ亦之ヲ適用ス

第二十四條 多衆共同ノ暴行ヲ鎮壓スル爲又ハ敵前ニ在ル部隊ノ急迫ニ臨ミ軍紀ヲ保持スル爲已ムコトヲ得サルニ出テタル行爲ハ之ヲ罰セス

必要ノ程度ヲ超エタル行爲ハ情狀ニ因リ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第二十五條 前條ノ規定ハ刑法又ハ他ノ法令ノ罪ト爲ルヘキ行爲ニ亦之ヲ適用ス

第二十六條 本法ニ依リ死刑ニ處セラレタル者其ノ執行ノ免除アリタル日ヨリ五年内ニ更ニ本法、刑法又ハ他ノ法令ノ罪ヲ犯シ有期懲役ニ處スヘキトキハ前ノ罪ヲ懲役ニ該ル罪ト同質ノ罪ト認ムルトキニ限り之ヲ再犯トス

第二十七條 本法及海軍刑法ニ於テ俱ニ罰スヘキ正條アリ且其ノ刑ニ輕重ナキトキハ陸軍軍人ニ準スル者ト雖海軍軍人ニ對シテハ海軍刑法ヲ適用ス

第二編 罪

第一章 叛亂ノ罪

第二十八條 黨ヲ結ヒ兵器ヲ執リ反亂ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 首魁ハ死刑ニ處ス

二 謀議ニ參與シ又ハ群衆ノ指揮ヲ爲シタル者ハ死刑、無期若ハ五年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他諸般ノ職務ニ從事シタル者ハ三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三 附和隨行シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第二十九條 反亂ヲ爲ス目的ヲ以テ黨ヲ結ヒ兵器、彈藥其ノ他軍用ニ供スル物ヲ劫掠シタル者ハ前條ノ例ニ同シ

第三十條 左ニ記載シタル行爲ヲ爲シタル者ハ死刑ニ處ス

一 軍隊又ハ要塞、陣營、艦船、兵器、彈藥其ノ他軍用ニ供スル場所若ハ物ヲ敵國ニ交付シタルトキ

二 敵國ノ爲ニ間諜ヲ爲シ又ハ敵國ノ間諜ヲ幫助シタルトキ

三 軍事上ノ機密ヲ敵國ニ漏泄シタルトキ

四 敵國ノ爲ニ嚮導ヲ爲シ又ハ地理ヲ指示シタルトキ

五 敵國ニ降ラシムル爲司令官ヲ強要シタルトキ

六 敵國ノ爲ニ俘虜ヲ奪取シ又ハ之ヲ逃走セシメタルトキ

第三十一條 敵國ヲ利スル爲左ニ記載シタル行爲ヲ爲シタル者ハ死刑ニ處ス

一 要塞、陣營、艦船、兵器、彈藥其ノ他軍用ニ供スル場所又ハ物ヲ損壞シ又ハ使用スルコト能ハサルニ至ラシメタルトキ

二 水陸ノ通路、橋梁ヲ損壞又ハ壅塞シ又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ軍隊、艦船ノ往來ノ妨害ヲ生セシメタルトキ

三 司令官軍隊ヲ率井テ守地若ハ配置ノ地ニ就カス又ハ其ノ地ヲ離レタルトキ

四 隊兵ヲ解散シ又ハ其ノ潰走混亂ヲ誘起シ又ハ其ノ連絡集合ヲ妨害シタルトキ

五 兵器、彈藥、糧食、被服其ノ他軍用ニ供スル物ヲ缺乏セシメタルトキ

六 命令、通報若ハ報告ヲ詐リ傳ヘ又ハ虛偽ノ命令、通報若ハ報告ヲ爲シタルトキ

七 造言、飛語シ又ハ敵前ニ於テ叫呼喧噪シタルトキ

第三十二條 前二條ニ記載シタル以外ノ方法ヲ以テ敵國ニ軍事上ノ利益ヲ與ヘ又ハ帝國ノ軍事上ノ利益ヲ害シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第三十三條 反亂者又ハ内亂者ヲ利スル爲前三條ニ記載シタル行爲ヲ爲シタル者ハ死刑、無期若ハ三年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第三十四條 前六條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第三十五條 第二十八條乃至第三十三條ノ罪ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ一年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第三十六條 第二十八條又ハ第二十九條ノ罪ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者未タ事ヲ行ハサル前自
首シタルトキハ其ノ刑ヲ免除ス

第三十七條 本章ノ規定ハ戰時同盟國ニ對スル行爲ニ亦之ヲ適用ス

第二章 擅權ノ罪

第三十八條 司令官外國ニ對シ故ナク戰闘ヲ開始シタルトキハ死刑ニ處ス

第三十九條 司令官休戰又ハ媾和ノ告知ヲ受ケタル後故ナク戰闘ヲ爲シタルトキハ死刑ニ處ス

第四十條 司令官權外ノ事ニ於テ已ムコトヲ得サル理由ナクシテ擅ニ軍隊ヲ進退シタルトキハ

死刑又ハ無期若ハ七年以上ノ禁錮ニ處ス

第四十一條 命令ヲ待タス故ナク戰闘ヲ爲シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ七年以上ノ禁錮ニ處ス

第四十二條 本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第三章 辱職ノ罪

第四十三條 司令官其ノ盡スヘキ所ヲ盡サスシテ敵ニ降リ又ハ要塞ヲ敵ニ委シタルトキハ死刑ニ
處ス

第四十四條 司令官野戰ノ時ニ在リテ隊兵ヲ率井敵ニ降リタルトキハ其ノ盡スヘキ所ヲ盡シタル
場合ト雖六月以下ノ禁錮ニ處ス

第四十五條 司令官敵前ニ於テ其ノ盡スヘキ所ヲ盡サスシテ隊兵ヲ率井逃避シタルトキハ死刑ニ
處ス

第四十六條 司令官軍隊ヲ率井故ナク守地若ハ配置ノ地ニ就カス又ハ其ノ地ヲ離レタルトキハ左
ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ五年以上ノ有期禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第四十七條 司令官出兵ヲ要求スル權アル官憲ヨリ其ノ要求ヲ受ケ故ナク之ニ應セサルトキハ二
年以下ノ禁錮ニ處ス

第四十八條 將校部隊若ハ一部ノ兵員ヲ率井又ハ之ニ屬シ輸送船舶ニ在リテ敵ノ艦船ニ遭遇シタ
ル際其ノ盡スヘキ所ヲ盡サスシテ其ノ船舶ヲ退去シタルトキハ死刑、無期若ハ十年以上ノ懲役
又ハ禁錮ニ處ス

第四十九條 部下多衆共同シテ罪ヲ犯スニ當リ鎮定ノ方法ヲ盡ササル者ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十條 哨兵故ナク守地ヲ離レタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十一條 哨兵睡眠又ハ酩酊シテ其ノ職務ヲ怠リタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ五年以下ノ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十二條 衛兵、控兵、巡察、斥候其ノ他警戒又ハ傳令ノ勤務ニ服スル者故ナク勤務ノ場所若ハ隊

伍ヲ離レタルトキ又ハ到ルヘキ場所ニ到ラサルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ死刑又ハ無期若ハ十年以上ノ禁錮ニ處ス

二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十三條 故ナク規則ニ依ラスシテ哨兵ヲ交代セシメ其ノ他哨令ニ違反シタル者ハ左ノ區別ニ

從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ一年以上五年以下ノ禁錮ニ處ス

二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十四條 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ斥候、巡察又ハ偵察ノ勤務ニ服スル者虚偽ノ報告ヲ爲シタルトキハ七年以下ノ懲役ニ處ス

戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ軍事ニ關スル命令、通報又ハ報告ノ傳達ヲ掌ル者其ノ命令、通報若ハ報告ヲ詐リ傳ヘ又ハ故ナク之ヲ傳達セサルトキ亦前項ニ同シ

第五十五條 軍事機密ノ圖書、物件ヲ保管スル者危急ノ時ニ當リ之ヲ敵ニ委セサル方法ヲ盡ササルトキハ五年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十六條 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ兵器、彈藥、糧食、被服其ノ他軍用ニ供スル物ノ運搬又ハ支給ヲ掌ル者故ナク之ヲ缺乏セシメタルトキハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第五十七條 健康ヲ害スヘキ飲食物ヲ配給シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ無期又ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第五十八條 從軍ヲ免レ又ハ危險ナル勤務ヲ避クル目的ヲ以テ疾病ヲ作爲シ、身體ヲ毀傷シ其ノ他詐僞ノ行爲ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ五年以上ノ有期懲役ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第五十九條 第四十三條、第四十五條、第四十六條、第四十八條、第五十條、第五十二條、第五十四條及第五十六條乃至第五十八條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第四章 抗命ノ罪

第六十條 上官ノ命令ニ反抗シ又ハ之ニ服從セサル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ死刑又ハ無期若ハ十年以上ノ禁錮ニ處ス

二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ一年以上七年以下ノ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第六十一條 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ首魁ハ死刑ニ處シ其ノ他ノ者ハ死刑又ハ無期禁錮ニ處ス

二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ首魁ハ無期又ハ五年以上ノ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ一年以上十年以下ノ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ首魁ハ三年以上十年以下ノ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ五年以下ノ禁錮ニ處ス

第六十二條 暴行ヲ爲スニ當リ上官ノ制止ニ從ハサル者ハ三年以上ノ禁錮ニ處ス

第五章 暴行脅迫ノ罪

第六十三條 上官ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十四條 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ無期若ハ十年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ三年以上ノ有期ノ懲

役又ハ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ首魁ハ五年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十五條 上官ニ對シ兵器又ハ兇器ヲ用井テ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷

ス

一 敵前ナルトキハ死刑、無期若ハ十年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ無期若ハ二年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十六條 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ首魁ハ死刑ニ處シ其ノ他ノ者ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ首魁ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ死刑、無期若ハ五年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十七條 哨兵ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ四年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十八條 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ首魁ハ三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ首魁ハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十九條 哨兵ニ對シ兵器又ハ兇器ヲ用井テ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處

斷ス

一 敵前ナルトキハ無期若ハ五年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十條 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ首魁ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ無期若ハ七年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ首魁ハ死刑、無期若ハ七年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ無期若ハ二年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十一條 上官又ハ哨兵以外ノ陸軍軍人其ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ四年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

黨與シテ前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ首魁ハ六月以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者

ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二十

第七十二條 上官又ハ哨兵以外ノ陸軍軍人其ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ對シ兵器又ハ兇器ヲ用
井テ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

黨與シテ前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ首魁ハ無期若ハ三年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者
ハ一年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十三條 多衆聚合シテ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 首魁ハ三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 他人ヲ指揮シ又ハ他人ニ率先シテ勢ヲ助ケタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處
ス

三 附和隨行シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十四條 職權ヲ濫用シテ陵虐ノ行爲ヲ爲シタル者ハ三年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十五條 第六十三條乃至第七十三條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第六章 侮辱ノ罪

第七十六條 上官ヲ其ノ面前ニ於テ侮辱シタル者ハ三年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

文書、圖畫若ハ偶像ヲ公示シ又ハ演說ヲ爲シ其ノ他公然ノ方法ヲ以テ上官ヲ侮辱シタル者ハ五
年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十七條 哨兵ヲ其ノ面前ニ於テ侮辱シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七章 逃亡ノ罪

第七十八條 故ナク職役ヲ離レ又ハ職役ニ就カサル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ死刑、無期若ハ五年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ三日ヲ過キタルトキハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ニ於テ六日ヲ過キタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二十一

第七十九條 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ首魁ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ死刑、無期若ハ七年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ三日ヲ過キタルトキハ首魁ハ五年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ六月以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ニ於テ六日ヲ過キタルトキハ首魁ハ一年以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第八十條 敵ニ奔リタル者ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處ス

第八十一條 第七十八條第一號、第七十九條第一號及前條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第八章 軍用物損壞ノ罪

第八十二條 陸軍ノ工場、船舶、戰闘ノ用ニ供スル建造物、汽車、電車若ハ橋梁又ハ陸軍ノ軍用ニ供ス

ル物ヲ貯藏スル倉庫ヲ燒燬シタル者ハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第八十三條 露積シタル兵器、彈藥、糧食、被服其ノ他陸軍ノ軍用ニ供スル物ヲ燒燬シタル者ハ左ノ

區別ニ從テ處斷ス

一 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ無期又ハ二年以上ノ懲役ニ處ス

第八十四條 火藥、汽罐其ノ他激發スヘキ物ヲ破裂セシメテ前二條ニ記載シタル物ヲ損壞シタル者ハ燒燬ノ例ニ同シ

第八十五條 第八十二條ニ記載シタル物又ハ陸軍戰闘ノ用ニ供スル鐵道、電線若ハ水陸ノ通路ヲ損壞シ又ハ使用スルコト能ハサルニ至ラシメタル者ハ無期又ハ二年以上ノ懲役ニ處ス

第八十六條 兵器、彈藥、糧食、被服、馬匹其ノ他陸軍ノ軍用ニ供スル物ヲ毀棄又ハ傷害シタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第八十七條 第八十二條乃至第八十五條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第八十八條 本章ノ規定ハ陸軍ト共同作戰ニ從フ外國陸海軍ノ軍用物ニ對スル行爲ニ亦之ヲ適用ス

第九章 掠奪ノ罪

第八十九條 戰地又ハ帝國軍ノ占領地ニ於テ住民ノ財物ヲ掠奪シタル者ハ一年以上ノ有期懲役ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯スニ當リ婦女ヲ強姦シタルトキハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處ス

第九十條 戰場ニ於テ戰死者又ハ戰傷病者ノ衣服其ノ他ノ財物ヲ褫奪シタル者ハ一年以上ノ有期懲役ニ處ス

第九十一條 前二條ノ罪ヲ犯ス者人ヲ傷シタルトキハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處シ死ニ致シタルトキハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第九十二條 本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十章 俘虜ニ關スル罪

第九十三條 俘虜ヲ看守又ハ護送スル者其ノ俘虜ヲ逃走セシメタルトキハ三年以上ノ有期懲役ニ處ス

第九十四條 俘虜ヲ逃走セシメタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

俘虜ヲ逃走セシムル目的ヲ以テ器具ヲ給與シ其ノ他逃走ヲ容易ナラシムヘキ行爲ヲ爲シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ目的ヲ以テ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第九十五條 俘虜ヲ奪取シタル者ハ二年以上ノ有期懲役ニ處ス

第九十六條 逃走シタル俘虜ヲ藏匿シ又ハ隱避セシメタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第九十七條 第九十三條乃至第九十五條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十一章 違令ノ罪

第九十八條 哨兵ヲ欺キテ哨所ヲ通過シ又ハ哨兵ノ制止ニ背キタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ一年以上五年以下ノ禁錮ニ處ス

二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

前項ノ外哨兵ニ對シ哨令ヲ犯シタル者亦前項ニ同シ

第九十九條 在郷軍人故ナク召集ノ期限ニ後レタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 戰時ニ際シ又ハ事變ノ爲召集ヲ受ケタル場合ニ於テ五日ヲ過キタル者ハ二年以下ノ禁錮ニ

處ス

二 其ノ他ノ場合ニ於テ十日ヲ過キタル者ハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第一百條 兵役ヲ免ルル目的ヲ以テ疾病ヲ作爲シ、身體ヲ毀傷シ其ノ他詐僞ノ行爲ヲ爲シタル者

ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

在郷軍人召集ヲ免ルル目的ヲ以テ前項ノ行爲ヲ爲シタルトキ亦前項ニ同シ

第一百一條 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ軍事ニ關スル虛僞ノ命令、通報又ハ報告ヲ爲シタル者

ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第一百二條 戰時又ハ事變ニ際シ軍事ニ關シ造言飛語ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第一百三條 禮砲、號砲其ノ他空包ヲ發スヘキ場合ニ於テ彈丸、瓦石其ノ他ノ物ヲ裝填シテ發シタル

者ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第一百四條 哨兵又ハ衛兵故ナク銃砲ヲ發シタルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第一百五條 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ急呼ノ號報アリタル場合ニ故ナク來會セサル者ハ二

年以下ノ禁錮ニ處ス

第一百六條 政治ニ關シ上書、建白其ノ他請願ヲ爲シ又ハ演說若ハ文書ヲ以テ意見ヲ公ニシタル者

ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

二十八

第一百七條 服從ノ道ニ違フヘキ事ヲ目的トシテ黨ヲ結ヒタルトキハ首魁ハ六月以上五年以下ノ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

明治十四年第六十九號布告陸軍刑法ハ之ヲ廢止ス

陸軍刑法案理由書

刑法ノ改正ニ伴ヒ且不備ノ點ヲ修補スル爲陸軍刑法ヲ改正スルノ必要アリ是レ本案ヲ提出スル所以ナリ

二十九

陸軍刑法案印刷物中

十七頁二行トキハ下「首魁」ハ「服」

右之通印物中誤謬有之候間為念此段及所
通知候也

明治四十一年二月二十号

内閣書記官

續兩院書記官片申

内

閣

明治四十一年
二月九日

陸軍省副官立花小一郎

内家書影



一法平
一法平
一法平
一法平
一法平
一法平
一法平
一法平
一法平
一法平